

# 農業技術 プリズム

県農林技術開発センター



貞松美貴子  
主任研究員

カーネーションは、「母の日に欠かせない花ですが、その時期に限らず、年間を通して安定した供給がなされています。

長崎県のカーネーションは、栽培面積21畝、生産額11億円で、本県の主要花き品目です。

当センターでは、この「長崎カーネーション」のブランド力の向上を推進するため、豊産性で花の色や形が良く、栽培のしやすい新品種の開発に取り組んでいます。

今回開発した新品種「だいき」はスプレータイプで花色は濃いピンクです。ピンク系の花色は、本県カーネーション栽培

## 大輪で日持ち良好

### スプレイ系カーネ 期待の「だいき」



カーネーション新品種「だいき」

面積の3割を占め、最も出荷量が多い花色です。

花弁は丸く、開花するとき外側の花弁から順に開く「バラ咲き」といわれる咲き方をします。また、茎が硬く、輪数が5輪以上と多いため、ボリューム感があります。花持ち日数は19日と、長く花を楽しむことができます。

花弁数が多いので、花が大きく、花枝が長いので、アレンジメントにも使いやすい花です。

長崎オリジナルカーネーションは「マッシュマロ」「こんぺいとう」「ミルクセーキ」に続き4つ目となりました。品種名の「だいき」は、県民の皆さんに応募していただいた中から「これまでにない発想でメッセージ性が高い」ということで選ばれました。今年から県内農家で栽培が始まっています。

当センターでは引き続き、生産性に優れた多くの新品種を育成していきます。

(県農林技術開発センター 農産園芸研究部門花き・生物工学研究室主任研究員 貞松美貴子)